

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	072 市民意識調査					
予算科目	01-020108-21 統計・データ利活用の推進に要する経			担当部課	政策イノベーション部統計・データ利	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	市民
目的	市民の意向の把握
概要 (取組内容)	調査票を調整・作成し、調査対象者に郵送後、郵送又はWEBで回収する。また、回収率の向上のため「礼状兼提出依頼状」郵送する。回収した調査票を集計・分析し全庁に共有し、各事業において、市民意識を把握し今後の施策形成へ活用する。集計・分析結果は冊子閲覧・ホームページにて公表する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	3,949	4,741	4,741	2,750	
	決算額	(千円)	0	3,718	1,977	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	3,718	1,977	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	1,393	1,399	1,399	1,399	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	10.50	15.00	15.00	15.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	アンケート回収率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	58.0	0.0	58.0	58.0	58.0	58.0
	実績	49.4	0.0	58.4	50.7	0.0	0.0
	指標の概要	(回収数/発送数) × 100% ・ 対象者 H27年度：18歳以上の市民2,400人 H29～R4年度：18歳以上の市民3,000人					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	戦略プラン等のKPIに指定されている設問に限定した簡易調査とすることで、回答者負担軽減を図った。	
成果	第2期戦略プラン等における数値目標の現状を把握することができた。	
課題	業務	次年度は簡易調査ではなく、小設問も含めると約130問の調査となっており、回答者の負担が大きいため、既存質問の見直しを行いつつ新規設問にも対応する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	回答者負担軽減のため、設問を厳選し、可能な限り設問数を削減する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	082 統計管理及び統計情報提供事務					
予算科目	01-020501-11 統計調査員に要する経費			担当部課	政策イノベーション部統計・データ利	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	市内に在住・在勤・在学する者、市職員
目的	統計業務の管理を行う。また、各種計画立案や学術研究等への活用及び市についての知識を多くの方に広めることを目的に、人口をはじめとする市勢に関するデータを提供する。
概要 (取組内容)	市に委任された統計業務について、調査員登録状況や調査区地図をはじめとした全体的な管理を行う。人口をはじめとする市勢に関するデータを収集し、「統計つくば」としてまとめ、市ホームページに掲載する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	8,456	3,447	4,193	3,824	3,824	
	決算額	(千円)	6,421	3,522	4,177	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,225	432	3,513	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	5,189	3,084	664	0	0
		その他	(千円)	7	6	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	680	743	691	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	24.00	4.00	4.00	4.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	統計つくばの発行
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	統計つくばの配布部数 (部)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	32.0	39.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	統計つくばの配布部数を指標としていたが、提供数が少ないため、H28年度から市ホームページを利用した電子媒体での提供を基本とした。R3からは印刷された冊子の頒布をとりやめた。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	なし	
成果	つくば市に関する統計情報について、市民及び庁内への適切な情報提供を行うことができた。 統計つくばに掲載する表やグラフを見やすく分かりやすい形にするため、レイアウト等の変更を行った。	
課題	業務	なし
	組織、予算等	なし
改善目標	なし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	083 つくば市統計調査員連絡協議会事務					
予算科目	01-020501-11 統計調査員に要する経費			担当部課	政策イノベーション部統計・データ利	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	市に登録された統計調査員
目的	統計調査員としての能力の向上を図る。
概要 (取組内容)	つくば市統計調査員連絡協議会と共働して統計調査員を対象とした研修会を開催することにより、統計調査の重要性を認識いただくとともに調査員としての資質の向上を図る。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	268	248	229	229	229	
	決算額	(千円)	123	124	114	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	60	68	72	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	63	56	42	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	680	684	691	694	694	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	4.00	5.00	5.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	研修会アンケート (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	研修効果を評価・測定するため実施するアンケート調査で、「統計調査を実施する上で今回の研修会は参考になったか」の問いに対し、「大いに参考になった」及び「参考になった」と回答した割合					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講義形式ではなく研修資料の配布をもって研修会を実施し、各調査員の接遇力の向上と個人情報保護意識の啓発を行った。 統計調査員をより多く確保するため、高齢者向け雑誌に募集記事を掲載した。				
成果	研修会を実施したことで、統計調査員の能力向上が図れた。 高齢者向け雑誌に統計調査員の募集記事を掲載したことで、公募の調査員が増えた。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>統計調査員は非常勤公務員としての接遇態度や個人情報保護の意識が必要であるが、毎年入れ替わりがあるため、調査員研修は重要である。また、高齢化が進んでおり、人員の確保が難しくなっている。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td>なし。</td> </tr> </table>	業務	統計調査員は非常勤公務員としての接遇態度や個人情報保護の意識が必要であるが、毎年入れ替わりがあるため、調査員研修は重要である。また、高齢化が進んでおり、人員の確保が難しくなっている。	組織、予算等	なし。
業務	統計調査員は非常勤公務員としての接遇態度や個人情報保護の意識が必要であるが、毎年入れ替わりがあるため、調査員研修は重要である。また、高齢化が進んでおり、人員の確保が難しくなっている。				
組織、予算等	なし。				
改善目標	調査員に対し研修会を実施することで、個人情報保護意識の向上等を図る。 より多く調査員を確保するために必要な方法を検討する。				

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	086 国・県委任の基幹統計調査事務					
予算科目	01-020502- 基幹統計調査費			担当部課	政策イノベーション部統計・データ利	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	法定受託事務	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	統計法			SDGs	16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	市内に在住・在勤・在学する者、市職員
目的	各分野の実態を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得る。
概要 (取組内容)	各種統計調査の実施にあたり、調査員説明会を開催し、調査が円滑に進むよう調査の趣旨及び調査方法等を具体的に説明する。調査終了後は、調査票未提出の調査対象者へ督促を行うとともに、回収した調査票等を審査・点検し県統計課へ提出する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	102,496	8,063	3,497	9,172	20,325	
	決算額	(千円)	84,871	5,538	3,572	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	84,871	5,538	3,572	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	22,355	8,418	8,302	8,295	15,298	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.80	1.20	1.20	1.20	2.20
		正職員時間外勤務	(時間)	1,350.00	89.00	53.00	50.00	129.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	HP、広報誌等による周知
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	調査員報酬振込依頼書等を電子化する際にAI-OCRを活用した。	
成果	各統計調査について、調査期日までに調査結果を報告することができた。 AI-OCRを活用することで、作業時間を縮減することができた。	
課題	業務	統計調査を実施するに当たり、各調査区を担当する調査員の選定に時間がかかる。
	組織、予算等	なし。
改善目標	調査員を選定する際にGISを活用することで作業時間を縮減させる。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	088 証拠に基づく政策立案（E B P M）の推進					
予算科目	01-020108-21	統計・データ利活用の推進に要する経			担当部課	政策イノベーション部統計・データ利
市長公約					係名	
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	16平和と公正をすべての人に

事業の概要

対象	市職員
目的	限られた資源の効果的・効率的な活用及び、行政への信頼性向上のため、事例や経験ではなく証拠に基づく政策立案・事業展開を進める「E B P M」を推進する。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> 各課からの相談に応じたナッジ活用支援、好事例の調査研究、庁内への情報提供 他自治体の情報収集、筑波大学との勉強会等を通じた、つくば市に合ったE B P M推進の在り方の検討

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	87	92	92	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	2,805	2,798	2,798	2,798	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	29.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	なし	
成果	各課からの相談に応じナッジ活用支援を行った。 ナッジ勉強会を月1回程度実施し、ナッジ活用事例の紹介、研究、活用結果の報告等を行った。 筑波大学との共同研究や他自治体との情報交換会を通じて、他自治体のEBPMの取組み状況を確認した。	
課題	業務	EBPMは国や他自治体でも取り組みが始まったばかりで推進手法が確立されていない。
	組織、予算等	なし
改善目標	なし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	008 保有データの活用環境整備					
予算科目	01-020108-21 統計・データ利活用の推進に要する経			担当部課	政策イノベーション部統計・データ利	
市長公約				係名		
戦略プラン	IV-3	2	1	データ利活用研修の実施、オープンデータ	新規・継続	継続
	IV-3	2	2	保有データを庁内活用できる環境の整備	事業分類	自治事務（任意）
	IV-3	2	4	データを活用した課題解決の場の提供	事業体制	一部委託
個別計画	つくば市情報化推進計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	官民データ活用推進基本法				SDGs	16平和と公正をすべての人に

事業の概要

対象	市職員、市民（市内に在住、在勤、在学する者を含む）、民間企業等
目的	データを日常業務や政策検討に活かせる人材を育成するとともに、データを活用できる環境を整備する。また、市民や民間企業等におけるオープンデータの利活用を促進する。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> データを日常業務や政策検討に活かせる人材を育成するため、職層に応じたデータ利活用研修を実施する 保有するデータを庁内横断的に共有し、活用できる仕組みを構築するとともに、データの可視化・分析ツールの導入を検討する 公開可能なデータについて、利用しやすい（機械可読性のある）形式で積極的にオープンデータとして公開する

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,926	1,587	4,082	4,082	4,082	
	決算額	(千円)	10,647	1,250	3,943	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	10,647	1,250	3,943	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,814	6,963	6,994	7,055	7,055	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	250.00	53.00	75.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	利用しやすいオープンデータ公開件数（累計）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	30.0	60.0	90.0	110.0	130.0	150.0
	実績	83.0	145.0	160.0	161.0	0.0	0.0
	指標の概要	(IV-3-②)データで市民を豊かにするまちの推進) PDFを除くオープンデータの公開件数（累計）					

2	指標名	データ利活用研修受講者数（累計）（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	150.0	270.0	390.0	510.0	630.0	750.0
	実績	191.0	357.0	493.0	618.0	0.0	0.0
	指標の概要	(IV-3-②)データで市民を豊かにするまちの推進) 人事課の職層研修（データ利活用研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）受講者数（累計）					
3	指標名	（人）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	（人）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	（人）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	職員に庁内データ共有システムの活用を促すため、幅広く活用可能なデータについて庁内のグループウェアで周知を図った。また、データを可視化・集計など分析しやすい形に加工した補助ツールを作成し、庁内データ共有システム上に登録した。				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・職層別のデータ利活用研修により、職員のデータリテラシーを向上 ・「庁内データ共有システム」の掲載データの充実 ・住民基本台帳等実際のデータを活用した1歳1か年行政区単位の人口推計を更新 ・データを可視化・集計など分析しやすい形に加工した補助ツールを作成 				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>職員における保有するデータを管理・活用するためのスキルの向上</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	職員における保有するデータを管理・活用するためのスキルの向上	組織、予算等	
業務	職員における保有するデータを管理・活用するためのスキルの向上				
組織、予算等					
改善目標	データ利活用研修の内容を見直すとともに、実際にデータを取扱うためのスキルの向上のためのプログラムを検討する。				

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—